

氷見市議会厚生文教委員会会議録

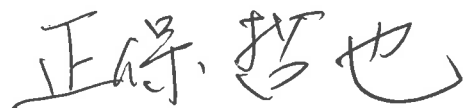
令和 2年 2月13日(休)
氷見市庁舎委員会室
開会 午前 9時58分
休憩 午前11時57分
再開 午後 0時58分
閉会 午後 2時10分

- 1 案 件 令和2年度予算案のうち厚生文教委員会の所管に係るもの
- 2 出席委員 6名
正保委員長、萬谷副委員長、穴倉委員、屋敷委員、竹岸委員、積良委員
- 3 委員外議員 荻野議長、北議員、稲積議員、越田議員、松原議員、上坊寺議員、澤田議員、
谷口議員
- 4 職務のため出席した事務局職員 坂本事務局長、西島副主幹
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、小野副市長、鎌仲教育長、京田企画政策部長、藤澤総務部長、澤市民部長、大門教育次
長、天坂教育総務課長、中館学校教育課長、角井スポーツ振興課長、高田福祉介護課長、浦子育
て支援課長、東海市民課長、宇波健康課長、出戸病院事業管理室長、三島環境防犯課長 ほか関
係職員
- 6 傍 聴 人 1人
- 7 経過及び結果
 - ・正保委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、説明を了承することとした（主な質疑応答は別紙の
とおり）。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和2年2月13日

氷見市議会厚生文教委員長



令和2年2月厚生文教委員会調査日程表

令和2年2月13日（木）午前10時

氷見市庁舎議事堂 委員会室

- ◎ 教育総務課等
・事業別明細書…………… P. 94

- ◎ 学校教育課等
・事業別明細書…………… P. 109

- ◎ スポーツ振興課
・事業別明細書…………… P. 113

- ◎ 福祉介護課
・事業別明細書…………… P. 18

- ◎ 子育て支援課
・事業別明細書…………… P. 32

- ◎ 市民課
・事業別明細書…………… P. 38

- ◎ 健康課
・事業別明細書…………… P. 47

- ◎ 病院事業管理室
・事業別明細書…………… P. 52

- ◎ 環境防犯課
・事業別明細書…………… P. 54

(注) 一般会計における給与費に係る説明は不要です。

主な質疑応答

教育総務課等 萬谷委員	1 中学生国際友好交流事業費について。中学生を10名程度公募ということだが、まず事業を行う最少人数というのはあるのか。
天坂課長	数名ということは想定していない。10名に少し欠ける程度であれば実施したい。
萬谷委員	では多かった場合の選考の仕方は。
天坂課長	応募に当たっては参加申込書と課題の作文等も提出することになっており、その中から選抜する。
竹岸委員	35 小学校 I C T 環境整備事業費、52 中学校 I C T 環境整備事業費について。台数が増えるというわけではなくてシステムの更新ということでしょうか。
天坂課長	そうである。
積良委員	62 天然記念物イタセンパラ再生事業費について。氷見市には今イタセンパラは万尾川にしかいないと言われていたが、なぜ矢田部川に放流するのか。
天坂課長	現在の狭いエリアでは血が濃くなりすぎてしまうことと、広げることによって生息域を広げたいという2点である。
積良委員	今イタセンパラを矢田部川に流した場合、生態系に影響はないのか。
天坂課長	元年度において環境への影響ということも調査しているところで、それを踏まえて2年度から実施する事業である。
積良委員	まだ調査の結果は出てないということか。
天坂課長	環境に影響がないという調査については終了している。
積良委員	イタセンパラがいると川の泥をほじってはならないとかいろんな制約がでてくる。そうしたことについて矢田部川周辺の方々に了解を得ているのか。
天坂課長	この件については自治会長等に説明している。

積良委員	イタセンパラがいると河川の改修ができないということが出てくる。しっかりと地元の方々と話をしないと、後々問題が起こってくるのではないかと。生態系の問題も合わせて考えながら、しっかりとこの事業を進めてほしいが。
天坂課長	地元の皆さんの協力のもと進める事業だと思っているので、地元等に説明、ご理解をいただくように進めていく。
積良委員	69 天然記念物オニバス発生地緊急調査事業費 について。前々からオニバス発生池の水質の悪化などいろんなことが言われてきたが、現状としてはどうなのか。
小谷課長補佐	水質についてはこれまでも簡易な調査は行っているが、専門家も含めた詳細な調査を2年度からスタートさせていただきたい。
積良委員	目標年次はいつまでくらいか。
小谷課長補佐	まず文化庁の補助をいただきながら行う調査は2カ年で行い、その調査結果をもとに、復活に向けてどうしていくか文化庁と相談しながら検討していきたい。
積良委員	しっかりと原因究明と再生できるのかできないのかを判断していただきたい。 また、水郷公園全体という話になってくるかもしれないので、その辺も考えていただきたいが、どうか。
小谷課長補佐	水郷公園の大切な構成要素となっているので、オニバス池のみに発生しているのを指定地という渦の中で発生できるように進めていきたい。
萬谷委員	66 市民文化プログラム推進事業費 について。舞台芸術の鑑賞会を行うということだが、詳細は。
小谷課長補佐	子どものための芸術鑑賞機会提供事業ということで、高岡文化ホールで市のバスで送迎して行うことにしている。校長会とも連携しており、演目は今調整中である。
萬谷委員	今回の四、五、六年生は舞台芸術に触れることができるが、高校生までの皆さんが等しく同程度の文化に触れられる形で行っていくということではないか。
天坂課長	現状は市内の小学生、中学生ということで行っている事業だが、今後高

	<p>校生まで広げていくかどうかについてはまだ判断できかねる。</p>
<p>学校教育課等 穴倉委員</p>	<p>6 プログラミング教室実施事業費について。教室に来る子と学校でやっているプログラミングの授業だけで教室に来ない子との間で差が出てこないのか。</p>
<p>中館課長</p>	<p>各学校で行う授業についてはあくまでも基本的なことの学習である。その中でも特にプログラミングに興味を持つ子どもには、希望制なので教室に参加して、どんどん自分の可能性を伸ばしてもらえばよい。</p>
<p>穴倉委員</p>	<p>考え方によってはこのプログラミング教室が塾的な位置づけになってしまうように思ってしまう。特別に行く子どもとの興味の差というのは、行く子の意志が尊重されるのであって、その差は仕方がないというか疑問とは思えない、そう考えてもよいのか。</p>
<p>中館課長</p>	<p>子どもにはいろいろな興味・関心がある中で、プログラミングでがんばりたいという子どもたちのためにこのような場所を提供したいと考えている。</p> <p>また、今年度はプログラミングを教えることができるメンターを育てる事業も行ったので、次年度は受講された方を教室に活用して、氷見市中でもっとプログラミングというものが広がっていくようにしたい。</p>
<p>萬谷委員</p>	<p>8 外国語教育推進事業費について。入れ替え4名のため対前年比増ということだが、もう少し説明を。</p>
<p>中館課長</p>	<p>今年度は8名のALTがいたが、入れ替えはなかった。次年度は学校数の減もあるので8名から7名でまわすことになる。そのうち4名が新たに來ることになるので旅費等で、増額となるものである。</p>
<p>スポーツ振興課 萬谷委員</p>	<p>17 氷見シーサイドマラソン大会実施事業費について。10キロコースをつくるということだが、ハーフマラソンのコースは考えられないのか。できないのか。</p>
<p>角井課長</p>	<p>現在のコースでは往復10キロが目一杯である。休みとはいえ市場のほうに流出があるということと年中無休の食堂があるため、なかなか難しい。ハーフとなればシーサイドではないところでということになるが、未だコースの設定ができていない。</p>
<p>萬谷委員</p>	<p>20 東京オリンピック開催関連事業費について。事前合宿誘致はホストタウンに申請したわけではないので難しいと思うが、以前ハンドボールの組み合わせが決まったら可能性があるというようなことを言われていた</p>

<p>角井課長</p>	<p>が、その辺はどうなっているか。</p> <p>以前はデンマーク女子をターゲットにとお伝えしていたが、まだオリンピック出場が決まっておらず、厳しい状況である。加えて(株)エスエスケイ・ヒュンメルとの連携とお伝えしているが、着ているナショナルチームのユニホームが(株)エスエスケイ・ヒュンメルではないということがわかり、出場されても厳しいのではないかと。</p> <p>現在オリンピック出場チームが半分ほど決まっているが、ホストタウンの契約をしている国、あるいは事前合宿が決まっている国がほとんどである。6月にAリーグ、Bリーグの組み合わせが決まった時に、近いところでキャンプをしていると都合が悪いということもあるので、それらを踏まえて検討したい。</p>
<p>萬谷委員</p>	<p>万が一氷見市に来たいという国があった場合に、この事業費の範囲内で対応できるのか。</p>
<p>角井課長</p>	<p>もしそういうところがあれば、滞在費、輸送費は追加でお願いしたい。</p>
<p>積良委員</p>	<p>聖火リレーだけの経費はどれだけか。</p>
<p>角井課長</p>	<p>県の実行委員会に収める負担金を含めて1, 782千円である。</p>
<p>積良委員</p>	<p>走る人はすべて決まっているか。</p>
<p>角井課長</p>	<p>聖火リレーのスポンサー4社に申し込んで、その4社から結果通知が出ているもので、私どものほうにはまだ情報は入っていない。</p>
<p>福祉介護課 萬谷委員</p> <p>高田課長</p> <p>萬谷委員</p> <p>高田課長</p> <p>穴倉委員</p>	<p>5 介護人材就労支援事業費について。介護人材の不足の原因は。</p> <p>介護職に魅力がないという風潮があるため若い方で目指す方が少なくなっていること。介護職員になった場合に資質向上の研修をかなり課せられるため継続を断念してしまうこと。また、処遇が低いということも原因の1つだと思われる。</p> <p>人材としてどこに一番流れて行っているのか。</p> <p>近隣の市外に流れて行っている。高岡市が氷見市より若干処遇が高いので、氷見市南部の方は高岡市に流れている傾向があると聞いている。</p> <p>20 高齢者生活支援施設利用者負担軽減事業費について。ひみサンの入所者の人数は。</p>

高田課長	寿養荘にあって、6室あるが満室である。
子育て支援課 屋敷委員	47 放課後児童対策事業費について。次年度は21カ所ということだが、1カ所減った理由は。
浦課長	減ったのは久目である。運営される方がつらくなったということもあるが、学校統合に合わせて育成クラブも統合したらどうかという意見もあってそうなったと聞いている。
屋敷委員	1カ所減っても増額になるのはなぜか。
浦課長	国庫補助基準額がアップしているので、数は減っても予算は増えている。
屋敷委員	少子化ということで児童数も減っているのですが、育成クラブのあり方についても今後検討していくべきではないか。
浦課長	児童数は減っている反面、放課後児童育成クラブのニーズが次第に高まってきているので、何としても続けていきたい。
穴倉委員	委託先に全部お任せではなくて、適正に運営がなされているかといった行政からのチェックはきちんとされているのか。
浦課長	いつも子どもたちに不都合がないようにチェックしている。
穴倉委員	指導員不足で悩まれているようなので、ソフト面もハード面もしっかりと目を行き届かせてあげてほしい。
積良委員	42 公立認定こども園整備事業費について。新町保育園を保育園から認定こども園とした理由は。
浦課長	従来どおりの保育を希望される方、幼稚園のような教育を必要とされる方とそれぞれいる。公立としては保育園しかないが、皆さんのニーズを考えるとこども園のほうがふさわしいのではないかとということでこども園にした。
積良委員	ほとんどがこども園に変わってきている中で、民間のこども園と公立のこども園でバッチングすることはあり得ないか。
浦課長	一部にそういう意見もあるが、公立私立問わず、ここが中心となって研修をしたり相談の窓口として中核のこども園としてやっていきたい。私立

	<p>ではカバーできないような方々に対してもすべてカバーしていきたいという思いでこの計画を立てた。</p>
積良委員	<p>前々から公立の保育所を少なくとも1つは中核的に残したいという話を聞いていたので、それがこの形になってきたのだろうが、私立の認定こども園と公立の認定こども園が競合になってしまうと大変なことになると思う。今回の新町保育園の場合は、現在の通っているエリアだけの人を対象とするのか、それとも市全体的に考えるのか。</p>
浦課長	<p>今後10年経つとおそらく公立の保育所は新町保育園1つだけが残るような状態になっていくのではないかと。1つだけになるし、キッズサポートセンターを併設するというので、配慮が必要な子どもも含めて市内全域を対象としたい。</p>
積良委員	<p>市内全域となると結局競合となるのは目に見えている。キッズサポートセンターが全域を見るのはわかるが、公立の認定こども園として市内全域を対象とするのはどうかと思う。すみ分けの垣根を取ってしまうと子どもの取り合いになってしまうので、その辺しっかりと考えていってほしい。</p>
澤市民部長	<p>従来保育園は地域の園であった。しかし、働く保護者の就労の状況もあり、保護者の住居地にこだわらない園の利用の仕方が非常に大きくなってきている。そういう意味では地域の園であると同時に、どの保育園もどのこども園も氷見市全体の園であるという形に、今現在変わってきている。</p> <p>また、民間にはそれぞれの園の特色があり、公立は公立で担うべき役割がある。お互いの役割を認識しながら、ある意味切磋琢磨しながらそれぞれの園の魅力を高めていく。そういった意味でも中核園の役割としての機能は維持していく必要があると思っている。</p> <p>保育園からこども園に移行することについては、国の子ども・子育て支援新制度が始まってもう数年になるが、その中ですべての子どもが利用できる園を目指して認定こども園を整備しようということが大きな流れとしてある。市としても保育園だけにこだわらず、さまざまな保護者のニーズを、そして配慮が必要な子どももそうでない子どもも一緒に過ごす園を確保していくことが機能としては必要かと思っており、今回のような計画になった。</p>
積良委員	<p>話はわかるが、しっかりと話をしていかないと今から子どもたちが減っていく中で、保育園なり幼稚園の授業が大変行き詰っていくのは目に見えている。民間には民間にしかできないこと、公立には公立にしかできないことがあると思うので、その辺のすみ分けもしっかりとするような計画を練っていただいて、氷見市の保育行政に影響を与えないようにやっていただきたい。</p>

健康課	
積良委員	10 健診審査事業費について。昨年からPET-CTの健診助成を行っているが、実績は。
宇波課長	今のところ13名の申請がある。全員、とやまPET画像診断センターで健診されている。
積良委員	今後増えていくと思われるが、もし増額になった場合は。
宇波課長	PET-CTについてはもっと市民に広く啓発したい。今年度50名で予算を組んでおり、今のところ13名なので、それほど急激に増えるということはないだろうが、流用とか補正を組んで対応したい。
積良委員	子宮がん健診の検査が変わるとはどのような検査に変わるのか。
宇波課長	今はプレパラートに細胞を取って染色して見るという技法だが、次年度からは液状のものの中に細胞を入れて見るという液状検体法になり、これだけで300万円ほどの増額である。
穴倉委員	10 こころの健康づくり推進事業費について。ゲートキーパーの皆さんが広く研修されたことを市民の中に打ち出していくような研修会の工夫は考えていないのか。
宇波課長	いろんな段階でのゲートキーパーがいる。これまでは一律のゲートキーパー研修だったが、今年度からさらにフォローアップした詳しい研修をやる。研修受講者のネットワークということはまだ考えてない。
萬谷委員	17 予防接種事業費について。ロタウイルスワクチンの定期接種化が10月からということで告知の仕方はどのようにされるのか。
宇波課長	大体8月生まれの子どもぐらいから対象になるが、その方々への広報と遡って個別に案内を計画している。
萬谷委員	大体何人くらい想定しているか。
宇波課長	ワクチンが2回接種のものと3回接種のものがある。10月以降に三百五、六十人分の予定でいる。
萬谷委員	1回で止めると効果がないのか。
宇波課長	十分な効果がでないと思う。

<p>病院事業管理室 萬谷委員</p> <p>出戸室長</p> <p>萬谷委員</p> <p>出戸室長</p> <p>萬谷委員</p> <p>出戸室長</p>	<p>収益的収支のその他医業外収益の指定管理者負担金について。金沢医科大学の負担が減って経営しやすくなるという考えでよいか。</p> <p>市民病院の経営の土台となる市と指定管理者の負担の見直しを行ったもので、指定管理者の負担を軽減するという考え方から整理したものである。</p> <p>逆に氷見市の持ち出し分が多くなるということで、今後、氷見市と病院の関連性というか、負担を減らしても氷見市として言うべきことは言っていかなければならないが、令和2年度はどのようにやっていくか。</p> <p>この後も医療環境はますます厳しくなると考えている。この後2024年には医師の時間外勤務の上限規制が行われ、それにより医師不足が心配されている。合わせて今国が2025年までに病床数を減らすという地域医療構想が積極的に進められ、その構想に基づいて4月からの診療報酬についてもその方向に合った改訂が行われるようである。それらにも耐え得るような形にしていきたいと考えている。そのためにさらなる公立病院改革プランを制定していきたい。</p> <p>もう少しすると高齢者も減ってくる、そういう局面に入ってくるのではないか。そうなるとなかなか人数を増やすというのは難しく、単価を上げていくということで、いろんなことを金沢医科大学にお願いしていかねばならない。氷見市としてどのように話を持っていくのか。</p> <p>まずは市民の医療ニーズに応えるということ。ニーズに合うということは経営にも良い影響を及ぼすと考える。そこをきちんと整理した上で、どういう診療体制をとっていけばよいか、来年度策定するさらなる公立病院改革プランで検討していきたい。</p>
<p>環境防犯課 積良委員</p> <p>三島課長</p> <p>積良委員</p> <p>三島課長</p>	<p>16 環境基本計画策定事業費について。今の計画は平成25年度から8年間、令和2年度で終わりだと思いが、次は計画としては8年間なのか、10年間なのか。</p> <p>令和3年度から8年間の計画でつくる。</p> <p>どういった順序を踏んでつくっていくのか。</p> <p>環境審議会委員の皆さんに事務局から素材を投げかけ、十分審議していただく。氷見市の自然環境や生活環境など幅広い環境問題に対して氷見の特性を生かした環境政策を総合的に策定していきたい。</p>